


産業目線

【活動選定項目】	① カーボンニュートラル(CN)への対応	
<p>具体的取り組み項目</p>	<p>1. インフラ整備 2. 公用車を電動車に変更 3. ゼロカーボンシティ宣言市（豊橋市）としての内容の充実</p>	
<p>前回まで 活動状況</p>	<p>① 令和4年6月 豊橋市内に新たな水素ステーションを建設中 ② 豊橋市 569台車両保有/23台電動化済 ③ 豊橋市 令和3年11月6日ゼロカーボンシティ宣言をしました。</p>	
<p>今回 具体的活動</p>	<p>① インフラの整備 令和4年9月現在 新たな水素ステーションが完成</p> <p>② 公用車を電動車に変更 会派：まちフォーラムで要望書を作成 令和4年10月31日 浅井市長に要望書を提出予定 1.2.3.の要望を盛り込みました。 令和4年9月現在、現状維持。</p> <p>③ 次世代自動車等普及促進事業（電気自動車・プラグインHV・燃料電池車など） 助成件数 令和2年度 600件 ⇒令和3年度 650件に増加 豊橋動物園等での車両展示回数 0回⇒3回/年を実施などで市民に周知</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p>  <p>豊橋市内に完成した水素ステーション 令和4年9月にオープン！！</p>
<p>今後の活動</p>	<p>今後も豊橋市としては、ゼロカーボンシティ宣言都市として何ができるのか、を調査・研究して提言する事が重要と考えます。 国の動向を見て動こうとする行政の対応が見られます。国・県の動きが大きく各市町に影響すると考えます。</p>	